

『経済研究』執筆要領

2023年10月改訂

1. 投稿原稿

◇投稿方法

『経済研究』への投稿は、『経済研究』ウェブサイト上の論文投稿システムから行なってください。同システムにおいて、まず投稿者として氏名を登録し、ログイン情報を取得してください。なお、同システムでは投稿者を連絡著者（corresponding author）に定めます。

投稿に際しては、以下の情報が求められます。

- 1) 投稿者の氏名・所属（院生の場合は博士課程と明記）・メールアドレス
- 2) 論文タイトル
- 3) 共著者の氏名・所属・メールアドレス
- 4) 論文の JEL 分類コード（最大3つ）
- 5) 投稿規定および著作権規定への全著者の同意の有無
- 6) 投稿原稿のアップロード（PDF または Word ファイル、最大2つ）
- 7) 編集委員会へのコメント（自由記述、投稿区分（論文または研究ノート）の希望があれば明記）

◇字数制限

投稿原稿は和文とし、字数の上限は原則として「論文」は全角 40,000 字、「研究ノート」は全角 20,000 字です。この字数には、タイトル、要旨、本文、注、参考文献、図表（面積を字数に換算）を含みます。

◇構成

投稿原稿（審査用原稿と同義）には、以下の内容を含めてください。ただし、著者名・所属機関名・謝辞など、執筆者を特定できる情報は含めないように注意してください。

- 1) 和文タイトル
- 2) 和文要旨（400 字以内）
- 3) 本文
- 4) 脚注
- 5) 参考文献
- 6) 図表（本文中に挿入可、カラーも可）

2. 掲載決定原稿

◇著作権規定

掲載が決定した原稿の著作権は、別に定められた「『経済研究』掲載原稿等の著作権規定」に則って運用されます。掲載決定の際には、著者（複数の場合は全著者）は著作権規定に定められた同意書に署名の上、同意書を提出してください。

◇構成

掲載が決定した原稿については、以下の内容にしたがって入稿用原稿を作成してください。

- 1) 和文タイトル
- 2) 著者の氏名・所属
- 3) 和文要旨（400 字以内）
- 4) JEL分類コード（最大3つ）
- 5) 謝辞

- 6) 英文タイトル
- 7) 英文要旨 (200 語以内)
- 8) 英文の著者の氏名・所属
- 9) 本文および脚注
- 10) 参考文献
- 11) 図表

上記の和文タイトルから参考文献までを「文章ファイル」(Word 形式または TeX 形式)にまとめてください。図表は本文中に挿入せずに別の「図表ファイル」(Excel 形式または Word 形式・ない場合は画像でも可)にまとめ、本文中には図表を挿入する場所を明記してください。「図表ファイル」には、表と図をそれぞれ本文中で現れる順序に並べてください。図と表は区別して「図1」「図2」…「表1」「表2」…と番号を振り、各図表にはタイトルと注と出所をつけてください。図表はカラーで結構ですが、最終的な配色は編集部で調整します。

◇原稿書式

文章ファイルと図表ファイルは、A4 版で余白を上下左右 30mm 程度、フォント・サイズを 10.5 ポイント、行間 1 行に設定してください。段組み等のレイアウトはしないでください。

◇全角文字と半角文字

日本語は、本文、要旨、注、参考文献、図表等すべてにおいて、MS 明朝の全角で記入してください。日本語の句読点は、全角のカンマ、ピリオド [, .] に統一してください。() [] 「 」や『 』などの括弧類、その他の ? % ・ / — などの記号、空白もすべて全角で記入してください。ハイフンは日本語モード「ー」を用い、全角マイナスを使います。

英数字 (A, B, c, d, 1, 2, 3, .) は、すべて Times New Roman の半角で記入してください。英語・仏語・東欧語などの言語を標記する場合も、フォントは Times New Roman を使用してください。

◇日本語と英数字の混在

日本語中で数字や英語が続く場合、外国語の引用など外国語の意味として英数字を使う場合は、すべて半角にしてください。ただし数式は除きます。

例：佐藤 (会報, 1999, vol. 34, no. 4, pp. 567-8)

前後の丸カッコは半角です。「会報」の後の半角カンマから後ろの半角丸カッコまで、スペースも含みすべて半角です。

◇数字の表記

数字の表記で、345,678ドルのような場合は三桁ごとのカンマ切りをしてください。大きい数字は3億4567万円のように表記してもかまいませんが、この場合にはカンマ切りは不要です。

◇サブタイトル

サブタイトルをつける場合は、— (全角マイナス) で囲ってください。

◇節と項の表記

節と項の表記は以下の例のようにしてください (数字とピリオドは半角、そのあとのスペースは全角)。

1. はじめに
- 1.1 問題の所在

◇注のつけ方

注は脚注としてページの下部に表示し、文末にはまとめないでください。注の指示は半角上付き数字に右括弧を付して、句読点の前につけてください。

例：～である⁴⁾。

なお、注は本文の内容にかかわる内容注のみとし、論文・書物の引用箇所の表示は注ではなく本文中に記入してください。（ただし、統計報告書・新聞・政府文書の文献情報の表示には注を用いて結構です。）

例：(田中, 1842, pp. 345-346), (Hicks, 1936, pp. 23-45)

◇数式の記入

数式の挿入については、原則として、マイクロ・ソフト社の数式エディタを用いてください。Texの利用は可能ですが、その他の数式作成ソフトで作成した数式は図形として認識され、画像張り付けになる場合があります、印刷明瞭度が落ちる可能性があります。文中に行替えせずに短い数式を含める場合は、数式エディタを用いる必要はありませんが、英数字は Times New Roman の半角で記入してください。スカラー変数は、*X*、*Y*、*Z*のようにイタリック表記を、ベクトルと行列は、**A**、**B**、**C**のようにボールド表記を使用してください。

◇表

表は、表1 表2 …と表記してください。表は図と表をまとめた「図表ファイル」に含め、1ページに1つの表を貼り付けてください。本文中では表を挿入する場所を指示してください。表の作成には原則として Excel を用いてください。表の「図表ファイル」への貼り付けは、Excel 等で再編集可能な Office オブジェクトを原則とします。Excel 以外のソフトで表を作成した場合は、印刷用原稿提出時には「タブ切り変換」で表をテキスト・ファイルに変換し、そのファイルも提出してください。

表のタイトル・注・出所は、表の中には入れず、「図表ファイル」に通常のテキストとして記入してください。表の注と出所は、以下のように注・出所の順番に書き、全角丸カッコで切る形式にしてください。

注) * は 5 %水準で有意であることを示す。

出所) OECD (2006), pp. 152-153.

◇図

図は、図1 図2 …と表記してください。図のタイトル、注・出所は、図の中には入れず、「図表ファイル」に通常のテキストとして記入してください。図の注と出所は、表の形式に準じます。図にはカラーをお使いください。最終的な配色は編集部で調整します。

◇校正

組版・印刷工程で、執筆者と編集部による校正が行われます。原則として執筆者が提出した入稿用原稿がそのまま組版され、専門家による校正は行われません。校正段階での大幅な修正は、再投稿となる可能性があります。

◇参考文献の書式

掲載順序

参考文献については、通し番号をつけず、最初に日本語文献を著者名の五十音順で、次に外国語文献を著者名のアルファベット順で記載してください。同一著者の場合には出版年順で記載し、著者名は省略しないでください。著者名のない文献については、著者名の代わりに書名で並べてください。

書物名・雑誌名・論文名

書物名・雑誌名は、日本語・中国語等の場合は『』で囲み、英語・仏語等の場合はイタリック

で表示してください。論文名は、日本語・中国語等の場合は「」で囲み、英語・仏語・東欧語等の場合は二重引用符（“”）で囲んでください。

文献情報

文献情報は次の順序で表記してください。

論文：著者名、発行年、論文名、収録書物の著者（编者）名、収録書物名（雑誌名）、巻数、号数、ページ数。

単行本：著者（编者）名、発行年、書物名（副題とも）、発行地、発行所。

ただし、発行地、発行所、巻数、号数のうち、不必要なものは省いてもかまいません（例えば、日本語文献の「東京：岩波書店」は単に「岩波書店」とします）。発行地や発行所が二箇所以上の場合、最初に表示されている発行地とこれに対応している発行所を記入してください。

文献の表記例

以下の表記例を参考にしてください。

都留重人（1950）「国民所得論における政府の位置」『経済研究』第1巻，第1号，pp.10-17.

北村行伸・宮崎毅（2010）「日本における課税所得の弾力性と最適所得税率：全国消費実態調査の個票データによる分析」Global COE Hi-Stat Discussion Paper Series, 150.

神林龍・橋本由紀（2017）「移民・外国人労働者のインパクト」川口大司編『日本の労働市場』有斐閣，pp. 182-213.

斎藤修（1985）『プロト工業化の時代－西欧と日本の比較史－』日本評論社.

日本銀行（2021）「経済・物価情勢の展望：2021年4月」 URL: <https://www.boj.or.jp/mopo/outlook/gor2104a.pdf>

Acemoglu, Daron, and John Robinson (2012) *Why Nations Fail: The Origins of Power, Prosperity, and Poverty*, New York: Crown Publishers. (鬼塚忍訳『国家はなぜ衰退するのか』早川書房2016年)

Kotaro Suzumura (1983) *Rational Choice, Collective Decisions, and Social Welfare*, Cambridge: Cambridge University Press.

付則 本執筆要綱は2023年10月18日から適用します。